

2018・小学校高学年「奮闘するたすく」

主人公の佑(たすく)と一平はデイサービスについて自由研究を書くことになります。

私はデイサービスについて知りませんでした。/はじめて知りました/前に行ったことがありました。

デイサービスは、少し興味がありました/あまり興味がありません/関係ないものだと思っていました。

なぜなら だからです。

もし私がデイサービスについて自由研究することになったら、

だと思います。

主人公の佑のおじいちゃんは認知症ぎみで、 なところが

おどろきました/イヤだなと思いました/かわいそうだなと思いました/私には無理だなと思いました。

だから、佑の なところが すごい/やさしいな/えらいな/がんばってるな と思いました。

もし私が佑なら、

するだろう/しないだろう と思いました。

デイサービスについて、 ということや、

ということをはじめて知り、勉強になりました。

私の一番身近なお年寄り、○○○○○です。○○○○○は な人です。

(○○○○○との思い出や印象的な体験) ということがありました。

もし○○○○○が私のこと/(思い出) を忘れてしまったら、とても

だと思いました。

私が一番好きな/共感した/気に入った 登場人物は、 です。

なところが、好きになりました/共感できました/気に入りました。

私が一番好きな/感動した/おどろいた 場面/言葉は、 です。

なぜなら だからです。

この本を読む前は、介護/デイサービス/お年寄り/認知症 について考えたことがありませんでした。

今は、 ではないかと思いました。/考えました。

この本を読むことで、佑や一平といっしょにデイサービスについて、少しだけ知ることができました。

だからこれからは、お年寄り/介護/デイサービス について

だと思うように/考えるようになりました。